

協力隊 No.1

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 林業・森林保全 |
| 派 遣 国 | ベネズエラ |
| 派 遣 期 間 | 2014年6月～2016年6月 |
| 活 動 内 容 | 苗床及び植林地の管理、優良種採取技術の向上支援、生徒や住民への植林啓発活動や日本の植林技術の紹介 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性／長野県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 高専卒業後、歯科衛生士の資格を取得。林業に関する技術コンサルタントをする協会にて技師として5年勤務した後、その経験を生かし青年海外協力隊に参加。帰国後は長野で造林用苗木（スギ・カラマツ）の生産をしており、長野市の林業振興審議会委員などで活動している。現在1児の母。 |

協力隊 No.2

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | コミュニティ開発 |
| 派 遣 国 | セネガル |
| 派 遣 期 間 | 2014年7月～2016年3月 |
| 活 動 内 容 | 稲作の普及支援、衛生啓発活動、学校の文化交流など |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／京都府 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 昔からあまり人見知りをせず、交友関係を広げることが好きだったため、コミュニティ開発職種で青年海外協力隊に参加。要請内容が地域住民の生活改善というとても大きいテーマだったため、ごみ問題、野菜栽培、緑化活動等様々なことに手を付けたが、最終的に稲作普及、衛生啓発、学校活動をメインに活動を行った。また、任期中に度々、アメリカのボランティアであるPeace Corpsと共に村落部において野菜、果実（バナナ等）の栽培普及活動を実施。 |

協力隊 No.3

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 幼児教育 |
| 派 遣 国 | カメルーン |
| 派 遣 期 間 | 2013年7月～2016年2月 |
| 活 動 内 容 | 情操教育の普及、日本の教育・保育の実践例の紹介と普及 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／熊本県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 県立保育大学校を卒業後、熊本市内の私立保育園に5年間勤務した後に協力隊に参加。 |

協力隊 No.4

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | PCインストラクター |
| 派 遣 国 | ガーナ |
| 派 遣 期 間 | 2014年9月～2017年3月 |
| 活 動 内 容 | 職業訓練校にてICT教育の質向上 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性／長野県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大学の理学部地球科学科卒業後、大手IT企業にシステムエンジニアとして5年3ヶ月勤務。退職して青年海外協力隊に参加。2年6ヶ月間ガーナで活動し、帰国。帰国後は別のIT企業に就職し、システムエンジニアとして勤務中。 |

協力隊 No.5

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 看護師 |
| 派 遣 国 | タンザニア |
| 派 遣 期 間 | 2012年6月～2014年6月 |
| 活 動 内 容 | 5S-KAIZEN手法を取り入れた病院内の業務改善 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／千葉県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 一般外科病棟、ICU、救命センター、手術室を経験し協力隊に参加。英語、スワヒリ語と格闘しながら現地のスタッフと共に病院内の業務改善に努め、勉強会も開催。近隣の病院まで業務改善のお手伝いに行くこともありました。協力隊参加時は38歳。妻、生まれて半年の娘などさまざまなものを残しての出発でした。 |

協力隊 No.6

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 理科教育 |
| 派 遣 国 | ウガンダ |
| 派 遣 期 間 | 2015年6月～2017年12月 |
| 活 動 内 容 | 理科の指導、理科への興味関心の向上、学習環境の改善/パソコン教室や野球部などの課外活動 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／秋田県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大学4年で就職を考え始めた頃に青年海外協力隊を知り、自分で調べたり、OB/OGの方の話を聞く中で参加を決意。新卒で理科教育の隊員としてウガンダへ派遣された。 |

協力隊 No.7

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 経営管理 |
| 派 遣 国 | タンザニア |
| 派 遣 期 間 | 2016年1月～2018年1月 |
| 活 動 内 容 | ビジネスをスタートしようとしている人々に5S・カイゼン（主には整理整頓）を広めました。タンザニア全土を回り、配属先機関の職員にも整理整頓の授業を実施。また、隊員の活動をタンザニア在住の日本人に紹介する活動にも取り組みました。 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性／大阪府 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大学院卒業後、メーカーに勤務。10年間、ものづくりに携わりました。2016年にタンザニアで隊員（経営管理）として活動。現職参加のため、帰国後は復職して勤務中。 |

協力隊 No.8

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 看護師 |
| 派 遣 国 | パラグアイ |
| 派 遣 期 間 | 2012年6月～2014年6月 |
| 活 動 内 容 | 診療の補助。看護師への技術移転・安全で働きやすい職場環境づくり、地域住民の健康向上 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性／岐阜県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 看護専門学校を卒業後、約14年間病院で看護師として働く（この間1年半、ワーキングホリデー+語学留学でオーストラリア滞在）。その後、1年間看護大学の教員を経験し、39歳で青年海外協力隊に参加した。 |

協力隊 No.9

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | マーケティング |
| 派 遣 国 | ペルー |
| 派 遣 期 間 | 2015年3月～2017年3月 |
| 活 動 内 容 | 町のプロモーション活動/観光資源の開発・整備 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性／大阪府 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大学政策学部にて開発経済学を専攻。その後、約6年間のIT企業でのマーケティング・営業のキャリアを経て、青年海外協力隊に参加。任国ペルーでは、観光客向けパンフレットの制作、観光資源の整備などに携わりながら、その合間に現地の小学校での日本文化教室を行った。 |

協力隊 No.10

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 障害児・者支援 |
| 派 遣 国 | ニカラグア |
| 派 遣 期 間 | 2015年1月～2017年1月 |
| 活 動 内 容 | 障害のある子どもや青年への授業の実施、教材作り、先生への研修 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／神奈川県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 神奈川県生まれ。大学卒業後に神奈川県の教員に採用され、3年間中学校の教員、10年間特別支援学校の教員をした後に退職。教員最後の年に青年海外協力隊の試験を受け、合格し退職翌年に、ニカラグアへ派遣。 |

協力隊 No.11

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 作業療法士 |
| 派 遣 国 | チュニジア |
| 派 遣 期 間 | 2013年1月～2015年1月 |
| 活 動 内 容 | 発達障害児・者通所施設での支援 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性／東京都 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 精神科病院にて作業療法士として4年半勤務した後、青年海外協力隊に参加。 現地では、作業療法の実施とともに、作業療法士がいなかったため養護教諭らと協力し「クラスのプログラム充実」、イスラム教社会における「地域や母親へ向けての啓蒙ワークショップ」、「チュニジアアラビア語の自閉症パンフレット作成」など行った。 |

協力隊 No.12

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 村落開発普及員（現コミュニティ開発） |
| 派 遣 国 | パラグアイ |
| 派 遣 期 間 | 2011年1月～2013年1月 |
| 活 動 内 容 | 養蜂組合の組織強化/中学校での環境教育 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／神奈川県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 1981年神奈川県生まれ。2006年大学卒業後、メーカーに4年半勤務。その後、現職参加制度を利用して青年海外協力隊に参加。2011年1月からパラグアイに村落開発普及員として派遣される。帰国後に職場復職したが、一年後の2014年1月に開発コンサルタントに転職し、エチオピアの無償資金協力案件に携わる。2018年5月に商社に転職し道路舗装業界に携わる。 |

協力隊 No.13

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | 音楽 |
| 派 遣 国 | ザンビア |
| 派 遣 期 間 | 2008年6月～2010年8月 |
| 活 動 内 容 | 中高生に音楽の授業、ブラスバンド部の指導 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性 / 兵庫県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 小学生の時から、長期休みのたびに、様々な団体の自然体験キャンプに参加。中高生の時には、ボランティアスタッフとして関わったものもある。子どもたちに関わる仕事がしたいと、教育大学に入学。在学中は、自然学校の指導補助員やキャンプのボランティアなどに積極的に携わった。教員採用試験に合格するための勉強に疑問を感じ、魅力的なOB/OG隊員に出会ったことをきっかけに、新卒で青年海外協力隊に参加。現地では、聖フランシス中高等学校に配属された。 |

協力隊 No.14

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | コミュニティ開発 |
| 派 遣 国 | モザンビーク |
| 派 遣 期 間 | 2016年3月～2018年3月 |
| 活 動 内 容 | 村落巡回型、主に近代養蜂、ネリカ米の技術移転と普及による生計と生活の向上 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性 / 東京都 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大学を卒業後、製菓企業の営業職（MR職）に従事。新卒後にコミュニティ開発隊員としてニカラグアに赴任していた友人を旅行で訪問し、当プログラムや国際協力業界を知り、帰国後すぐに応募したが不合格。2度目で合格し、モザンビークに赴任した。 |

協力隊 No.15

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | 青年海外協力隊 |
| 職 種 | コミュニティ開発 |
| 派 遣 国 | ペルー |
| 派 遣 期 間 | 2015年1月～2017年1月 |
| 活 動 内 容 | オリーブ農家の所得向上支援 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性 / 京都府 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大学卒業後、全国労働者共済生活協同組合連合会（全労済）に4年半勤務。 2015年1月よりコミュニティ開発隊員としてペルー最南端の町で、オリーブ農家の支援を行う。 2017年1月帰国。2017年4月より文具メーカーに勤務。 |

協力隊 No.16

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | 廃棄物処理 |
| 派 遣 国 | グアテマラ |
| 派 遣 期 間 | 2014年6月～2016年6月 |
| 活 動 内 容 | ごみ処理システムの改善と3Rの普及環境教育 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性 / 千葉県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 40年間設計事務所に勤務し、設計から施工までを経験。 1981年から4年間は中東アラブ首長国連邦に業務出張を経験。1995年からはごみ処理設備の設計を担当し2012年退職。 |

協力隊 No.17

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | 料理 |
| 派 遣 国 | モロッコ |
| 派 遣 期 間 | 2011年8月～2013年8月 |
| 活 動 内 容 | 観光高等専門学校の生徒（20歳前後）への日本料理を中心とするアジア料理の指導。レストラン経営、調理器具の管理、食材の開発、メニューの検討、指導法への助言。 |
| 性 別 / 出 身 地 | 女性 / 山形県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 公立の中学校で36年間勤務。 定年退職後、シニア海外ボランティアに応募 |

協力隊 No.18

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | 行政サービス |
| 派 遣 国 | ボツワナ |
| 派 遣 期 間 | 2014年6月～2016年6月 |
| 活 動 内 容 | 現地政府の業務改善と行政サービスの向上に協力してきた。現地政府から要請があり、建築技術と放射線防護技術の技術協力も行った。 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性 / 神奈川県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大学卒業後、大手ゼネコンで定年まで建築技術者、管理職として勤めた。 2008年1月～2009年12月の期間 モンゴルでシニア海外ボランティアとして建築技術、マネジメント技術の向上に協力。 2014年6月～2016年6月の期間 ボツワナで2度目のシニア海外ボランティアを経験。 |

協力隊 No.19

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | 機械工学 |
| 派 遣 国 | メキシコ |
| 派 遣 期 間 | 2014年1月～2017年1月 |
| 活 動 内 容 | 「無人化自動生産システム」を導入・構築。大学での講演・講義。JETROとの企業診断や大学の公開講座で日本語の指導。現地の日系企業での改善指導。 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／石川県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 長年機械加工の分野で働いていたが、定年で退職し、シニア海外ボランティアとしてメキシコで活動。 現在は石川県の災害ボランティアのコーディネーターとして地域のコミュニティで活動を続けている。 趣味は写真・旅・散歩。 |

協力隊 No.20

| | |
|-------------|---|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | バレーボール |
| 派 遣 国 | ネパール |
| 派 遣 期 間 | 2011年3月～2013年3月 |
| 活 動 内 容 | 女子ナショナルチームの指導と底辺拡大のための指導 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／愛知県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 1982年から教員として市内公立小中学校に勤務。1997年～2000年チリ・サンチャゴ日本人学校に勤務。2000年～2010年市内公立小中学校に復帰（2003年～2010特別支援学級を担当）。2010年退職（50歳）。 2010年シニア海外ボランティアに合格。 2011年ネパールでバレーボール隊員として活動（2年）。 2015年シニア海外ボランティア（短期）に合格。スリランカで体育隊員として活動（9ヶ月単身）。 帰国後、次の派遣を目指して準備中。 |

協力隊 No.21

| | |
|-------------|------------------------------------|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | 廃棄物処理 |
| 派 遣 国 | ミクロネシア |
| 派 遣 期 間 | 2014年7月～2016年7月 |
| 活 動 内 容 | コスラエ州政府の要請により島内の廃棄物処理状況の指導・改善 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性／北海道 |
| プ ロ フ ィ ー ル | 大手重電機メーカーに42年勤務。営業業務・家電リサイクル事業に従事。 |

協力隊 No.22

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | 経営管理 |
| 派 遣 国 | ザンビア |
| 派 遣 期 間 | 2015年9月～2017年9月 |
| 活 動 内 容 | マーケティング展開・貿易促進・中小企業支援・雇用促進の分野での支援活動 |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性/茨城県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | <p>2004年石油会社を58歳で早期退職。地元茨城県取手市のJICAボランティア説明会でシニア海外ボランティアを知り、現役時代に培った経歴を国際交流に生かすべく同年秋募集に応募し2005年南米ウルグアイに派遣。その後中米ドミニカ共和国・中東ヨルダンそしてアフリカ ザンビアに派遣され、2017年9月末帰国。</p> <p>2011年9月～2014年1月 ヨルダン 2008年9月～2010年9月 ドミニカ共和国 2005年11月～2007年11月 ウルグアイ</p> |

協力隊 No.23

| | |
|-------------|--|
| 区 分 | シニア海外ボランティア |
| 職 種 | 電気・電子機器(ボリビア) 情報・広報(フィジー) |
| 派 遣 国 | ボリビア、フィジー |
| 派 遣 期 間 | ボリビア：2014年10月～2016年10月 フィジー：2002年10月～2004年10月 |
| 活 動 内 容 | <p>ボリビア：UAGRM大学の電気工学科で主に電気・電子関係（マイコンを含む）の実験を指導</p> <p>フィジー：フィジー警察のコンピュータネットワーク化を支援。日本の「草の根技術協力事業」で採用していただきPCを寄贈した。</p> |
| 性 別 / 出 身 地 | 男性/福岡県 |
| プ ロ フ ィ ー ル | <p>大学院修士を経て、日立製作所へ入社。 物流システム、警察システムなどの概念設計などの営業技術部門に在籍。物流シミュレーションにも従事。 その後、フィジーへ2年間シニア海外ボランティアとして派遣。 帰国後は、物流メーカーのダイフクに8年間勤務し、SE業務を行った。 2016年からボリビアへ二度目のシニア海外ボランティアとして派遣。 会社時代では、先進国への海外出張が多く、10か国以上へ出張した。</p> |